



2021年2月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし  
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19  
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386  
清瀬事業所/ふわっとな  
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18  
TEL&FAX:042-497-9481  
<http://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

こぶし神社の鳥居の前で。



施設長 貝沼 寿夫

## 弱みも強みに

ふり返ってみますと、制限のある生活を1年ほど継続しています。外出・外泊の制限、短期入所の受入中止、テレワークや公共交通機関以外の通勤など、様々なご家庭や職員の協力、行政などからの支援があり、これまでなんとか感染者が発生することなく、利用者さんの生活や活動を維持することができています。改めて、皆様のご協力に感謝いたします。

そんな外出もままならないこぶしでの正月の風景です。例年ですと、2日は近所に初詣に出掛けますが、今年は食堂にこぶし神社がやってきました。職員お手製の赤い鳥居やおみくじ・鈴と鈴緒などが用意され、みんなで1年の無事とそれぞれの願い事をする事ができました。その他にも室内で楽しめるようお手製の福笑いや職員の中国ゴマの披露など、手作り感満載のお正月を利用者さんも楽しまれました。

今現在の環境は、日本にとつての様々な強み弱みを突きつけられたように感じています。日本はハグや握手の習慣が欧米諸国ほどではないため、濃厚接触が限られている点はコロナに対しての強みと言えます。反面、当初はネット上でデマのようなものが流れ、それに影響を受けてしまうことは、現代日本における弱みと言えます。こぶしにとつては、狭い空間での集団生活であることが、大きな弊害や弱みとして現れました。しかし、前述のお正月の風景にあるよう

に、弱みともいえる環境を職員一人ひとりの工夫によって、これまでにはない新しい体験を利用者さんに提供するという強みに見事に変えてくれました。

人間一人ひとりも同じです。すべからず人には、強みと弱みが存在します。利用者さんの支援においても、職員育成においても、弱点を克服することよりも強みを生かすことに重点を置いています。しかし、大前提として誰しもに弱みがあるという事を認識しておくことは、重要だと感じています。

以前の私は、弱みはあつてはいけない。あつたとしても、他人に見せるべきではない。そう考えていました。弱みを隠そうとするばかりに、虚勢を張ったり苦手な事に挑戦しなかつたりなどの弊害もありました。そんな反省から今は失敗や弱みを素直にさらけ出せるようになり、他人の失敗や弱みも許容できるようになりました。また、弱みを克服することや失敗から学ぶ事により、自分自身の少しの成長を感じ取れるようになり、まわりの人とスムーズな関係性を築けるようになりました。

組織においても、誰もが安心して弱みを見せられる。失敗を恥じず積極的に何事にも挑戦できる。誰かの弱みを他の誰かがその人の強みで補える。挑戦する誰かを喜んで応援し、やり遂げた時には、みんなが喜び合える。失敗したら励まし合って、また挑戦する。そんなこぶしであり続けたいと、改めて思えたお正月の風景でした。

## Cafe ふわっとな 元気に営業中です！

Cafe ふわっとなでは、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、営業を行っています。

また、サンドイッチや焼き菓子はテイクアウト・デリバリー(エリア限定)も承っておりますので、ぜひご利用下さい。

SNSにはテイクアウトメニューを掲載しています。ご利用の際は、お電話でご予約頂けますとお渡しがスムーズです。

皆さまのお越しをお待ちしております♪



東京都清瀬市上清戸 1-15-18  
TEL : 042-497-9482  
OPEN : 10 : 00 ~ 16 : 00 (LO15:30)  
定休日 : 土・日・祝日  
駐車場あります☆

### 【 Cafe ふわっとな SNS 】



## キラリ☆と光るこの一枚



調理での一コマ。和やかな雰囲気に毎回ほっこり(^^) (増田)



大掃除の掃除機なら俺に任せろ！( ㇏ )! (風戸)

## にやりほっと

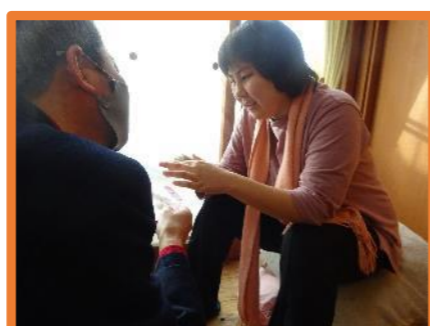
入職して初めて「にやりほっと」という素敵な言葉を知りました。私も、利用者さんの素敵な言動やできるようになった事を覚えておきたいと思い「にやりほっと日記」を作りました。たまに読み返しては、にやにやしています。

私が、初めて「にやりほっと」に出会ったのは、ガチガチに緊張しながら新任研修を受けていた時です。急に利用者さんがいらっしゃり、私にサクラの花びらをくださいました。ぎゅっと握りしめていたようで花びらはくしゃくしゃになっていましたが、わざわざ持ってきて下さったのが嬉しくて、今でも大切に取っています。

これからもたくさんの「にやりほっと」を見つけて、本棚いっぱい「にやりほっと日記」を並べることが小さな夢です。そのために、利用者さんの素敵な言動に「ありがとう」を忘れず「できた」と一緒に喜べるような支援員でありたいと思います。

生活支援員 花岡 穂香

## 年末年始 ～クリスマス&お正月～



クリスマスは、スポンジケーキやクリームを器の中で重ねた「トライフル」を作ったり、シャンパングラスでジュースを飲んだり、特別感満載のおやつでした♪  
 元旦には食堂に、職員力作のこぶし神社が出現！他にも年賀状をお渡ししたり、福笑いなどのゲームを楽しんだり、新型コロナウイルスの影響で普段通りとはいかない中でも、工夫を重ねることで季節感を感じ、楽しんでいただけたようでした。

## 今を生きる

新型コロナウイルス感染症は、様々な影響をもたらし、我々の生活を脅かしています。

利用者さんの中にも、見えない恐怖で仕事に行くことが出来ない、何だか分からないけど落ち着かない、どうして家にいることしか出来ないのか、外出、買い物、外食したい、地域の人たちとも関りたい。しかし感染症にも気を付けなければいけない。そんな中、利用者さんも徐々に、周りの状況や雰囲気を察知して、今の生活に順応しようとしている姿を見ます。そうした姿を見ると、これからどんな困難が起きても、悩み苦しみはありますが、次に向かって決断出来る「心」を持っている人間は、さらに大きな強さを得るだろうと思うのです。

出来なかったことが出来るようになり、していることとなり、さらに頑張れば極めることも出来ます。苦手なものも、やってみたら意外と苦手ではなく、興味や関心が増えるものとなった利用者さんもいます。新型コロナウイルス感染症は見えない恐怖ではありますが、それを見ようとするのではなく、現実を受け入れて、今を生き続けようと「心」に決めることにより、生きがいや楽しいことが見つけれられるのではないのでしょうか。

子供たちに人気となっている、「鬼滅の刃」の漫画本をこのステイホームだった休日に一気に読みました。どうしてこんなにも皆を夢中にさせて、感動させてくれるのか。昨年、日本レコード大賞を受賞したLiSAさんの「炎」は映画版の主題歌になっています。とても「心」をワクワクさせてくれる曲であり、「勇気」「情熱」「仲間」「強さ」を感じさせられる歌です。

漫画に出てくるキャラクターは一人ひとり個性があり、色々な方々に楽しめるのも人気の秘密であるのだと思いました。高校以来、漫画をほとんど読むことはなかったのですが、この漫画から共感することは、新型コロナウイルス感染症を鬼に見立て、いつか必ず倒せる日が来る、その教訓を生かした未来がやってくるということです。人間の「心」は、むしばむことは出来ない、私はそう信じて今を生きていきます。

相談支援専門員 佐藤 幸雄



## 日々の積み重ね

コロナの影響で倒産、縮小する企業もあり、ご利用者に作業を提供できない就労B型施設があると耳にしますが、幸いにも清瀬事業所は作業を途切れることなくご利用者に提供することができています。

勿論、以前から取引があった企業という事もありますが、「こぶしさんはいつも仕事が丁寧だから」と、有難いお言葉を頂き、優先的にお仕事をさせて頂いています。そのおかげでコロナ禍の中でもご利用者に毎日作業を提供でき、以前と変わらない環境を作ることが出来ました。

検品など職員が関わる部分は勿論ありますが、作業の大部分はご利用者が担っているので、普段から「お仕事をどうぞ」「お客さんが嫌な思いしないように」と意識して作業をしてくれているご利用者の誠意や意欲が、作業を途切れることなく提供できる現在の環境を作りだす大きな柱になっているなど、とても嬉しく感じました。

清瀬事業所 目標工賃達成指導員 高野 奈々